

# 業務状況説明書(下水道事業)

(令和4年4月1日から令和4年9月30日まで)

## 1. 令和4年度上半期の状況

### (1) 事業の概況

#### ア. 業務

区分	令和3年度 上半期	令和4年度 上半期	比較	
			増減	前年度比
水洗便所設置戸数(戸)	462	462	0	100.0%
有収水量(m <sup>3</sup> )	53,974	55,189	1,215	102.3%

#### イ. 建設改良事業

○1,000千円以上の発注済工事

(単位:円・税込)

工事名	工事費	備考
田中橋マンホールポンプ場緊急通報装置更新工事	1,122,000	
川北マンホールポンプ場ポンプ更新工事	1,936,000	

### (2) 経理の状況

#### ア. 収益的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	下水道事業収益	84,453,000	38,952,297	46.1%	
	営業収益	21,403,000	11,294,090	52.8%	
	営業外収益	63,048,000	27,658,207	43.9%	
	特別利益	2,000	0	0.0%	
支出	下水道事業費用	78,843,000	8,321,382	10.6%	
	営業費用	75,186,000	7,060,221	9.4%	
	営業外費用	2,445,000	1,261,161	51.6%	
	特別損失	212,000	0	0.0%	
	予備費	1,000,000	0	0.0%	

#### イ. 資本的収入及び支出

(単位:円・税込)

科目		現計予算額	執行額	執行率	備考
収入	資本的収入	6,315,000	0	0.0%	
	出資金	6,000,000	0	0.0%	
	負担金及び分担金	315,000	0	0.0%	
支出	資本的支出	31,740,000	12,561,332	39.6%	
	建設改良費	7,050,000	754,600	10.7%	
	企業債償還金	23,689,000	11,806,722	49.8%	
	投資その他	1,000	10	1.0%	
	予備費	1,000,000	0	0.0%	

#### ウ. 地方債の状況

(単位:円)

前年度残高	上半期中		前年度残高	備考
	借入額	償還金		
187,241,823	0	11,806,722	175,435,101	

#### エ. 基金の状況

(単位:円)

名称	前年度残高	上半期中増減高		前年度残高	備考
		増加	減少		
公共下水道事業基金	2,077,722	10		2,077,732	

## 2. 令和3年度決算の概要

### (1) 事業の状況

#### ア. 業務

区分	令和2年度	令和3年度	比較	
			増減	前年度比
計画処理人口(人)	1,600	1,600	0	100.0%
処理区域内人口(人)	1,184	1,151	△ 33	97.2%
水洗便所設置済人口(人)	1,011	996	△ 15	98.5%
水洗化率(%)	85.4	86.5	1.1	101.3%
水洗便所設置戸数(戸)	445	444	△ 1	99.8%
年間総処理水量(m <sup>3</sup> )	109,265	111,085	1,820	101.7%
晴天時平均処理水量(m <sup>3</sup> )	308	305	△ 3	99.0%
年間有収水量(m <sup>3</sup> )	105,650	109,045	3,395	103.2%
年間総汚泥処分量(m <sup>3</sup> )	1,153	1,100	△ 53	95.4%

#### イ. 建設改良事業

○1,000千円以上の工事

(単位：円・税込)

工事名	工事費	備考
川北ポンプ場水位計更新工事	1,045,000	
船団負担金事業(移動脱水車操作盤整備工事)	1,661,000	
大野浄化センター全窒素・全リン自動測定装置購入	3,190,000	

### (2) 経理の状況

#### ア. 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、90,976,699円(税抜き)で、前年度に比べ2,873,922円(△3.1%)の減となっています。内訳として、営業収益で454,082円(2.3%)の増、営業外収益で3,304,029円(△4.5%)減、特別利益で23,975円(△81.8%)減となっています。

収益的支出は、82,300,757円(税抜き)で、前年度に比べ397,292円(△0.5%)の減となっています。内訳として、営業費用で管渠費109,455円(△9.3%)減、処理場費3,545,809円(26.1%)増、総係費2,557,423円(△20.1%)減、減価償却費640,452円(1.3%)増、資産減耗費6,748円(3.2%)増、営業外費用で340,809円(△11.0%)減、特別損失で1,582,614円(△58.9%)減となっています。

結果、収益的収支で8,675,942円の当年度純利益となりました。

(単位：円・税抜)

科目		令和2年度	令和3年度	増減	前年度比	備考
収入	下水道事業収益	93,850,621	90,976,699	△ 2,873,922	96.9%	
	営業収益	20,048,761	20,502,843	454,082	102.3%	
	営業外収益	73,772,560	70,468,531	△ 3,304,029	95.5%	
	特別利益	29,300	5,325	△ 23,975	18.2%	
支出	下水道事業費用	82,698,049	82,300,757	△ 397,292	99.5%	
	営業費用	76,904,398	78,430,529	1,526,131	102.0%	
	営業外費用	3,105,737	2,764,928	△ 340,809	89.0%	
	特別損失	2,687,914	1,105,300	△ 1,582,614	41.1%	
	予備費	0	0	0	—	

イ. 資本的収入及び支出

資本的収入については、6,952,000円（税込み）で、前年度に比べ660,000円（9.5%）の増となっています。内訳として、他会計出資金となっています。

資本的支出は、33,141,994円（税込み）で、前年度に比べ2,946,600円（△8.9%）の減となっています。内訳として、建設改良費660,000円（10.5%）増、企業債償還金3,606,600円（△12.1%）減となっています

（単位：円・税込）

科目		令和2年度	令和3年度	増減	前年度比	備考
収入	資本的収入	6,292,000	6,952,000	660,000	110.5%	
	出資金	6,292,000	6,952,000	660,000	110.5%	
	負担金及び分担金	0	0	0	—	
支出	資本的支出	36,088,594	33,141,994	△ 2,946,600	91.8%	
	建設改良費	6,292,000	6,952,000	660,000	110.5%	
	企業債償還金	29,796,574	26,189,974	△ 3,606,600	87.9%	
	投資その他	20	20	0	100.0%	
	予備費	0	0	0	—	

資本的収支差引不足額26,189,994円は、当年度分消費税資本的収支調整額481,000円、過年度分損益勘定留保資金15,331,389円、当年度分損益勘定留保資金10,377,605円で補てんしました。

ウ. 地方債の状況

（単位：円）

前年度残高	決算年度中		前年度残高	備考
	借入額	償還金		
213,431,797	0	26,189,974	187,241,823	

エ. 基金の状況

（単位：円）

名称	前年度残高	決算年度中増減高		前年度残高	備考
		増加	減少		
公共下水道事業基金	2,077,702	20		2,077,722	